

泳姿颯爽

～新たに刻め 歴史の一頁～

第 98 回 日本学生選手権水泳競技大会〔競泳競技〕

監督者会議資料

参加校へのご案内

- ・ 2022 年 8 月 27 日（土）17 時より、オンラインにて開催します。
- ・ 必要に応じて、事前に各自で本資料を印刷してください。

オンライン参加方法

- ・ 下記 URL より参加してください（通信料は、参加者負担となりますのでご了承ください）。
16 時 45 分より入室いただけます。
- ・ 会議に参加される際は、参加者名を「登録団体番号＋学校名」として、待機してください。
管理者にて学校名の確認ができましたら、ログインを「承認」いたします。
- ・ 原則、1 校 1 アカウントでのログインにご協力ください。
- ・ カメラは常時 OFF としてください。
また、質疑応答の時間帯に指名された場合を除いて、マイクも OFF としてください。

監督者会議 URL

<https://us02web.zoom.us/j/88059076009?pwd=Nk9aaU1ZdHNuclFRdE15bFVwQ3ZOUT09>

（QR コードもご利用いただけます）

- ・ ミーティング ID：880 5907 6009
- ・ パスコード：045089



大会の参加に当たって

- (1) 各所在地の自治体や学校・職場から、移動制限等の要請が出ていないか、最終確認を行うこと。
- (2) 本連盟ホームページの2022年8月15日付「新型コロナウイルス感染拡大時における水泳競技会出場について（再通知）」を確認した上で、参加すること。
- (3) 入館前7日間において、以下の事項に該当する場合は、入館できない。出発前に入館者全員に該当しないか確認しておくこと。
 - ・ 平熱を超える発熱
 - ・ 咳（せき）、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ・ だるさ（倦怠感）息苦しさ（呼吸困難）
 - ・ 嗅覚や味覚の異常
 - ・ 体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
 - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
- (4) 入館前14日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合は、入館できない。
- (5) 「健康チェック表」を入館者全員が持参しているか確認すること。提出できない場合は入館できない。必ず責任者が、選手ならびに来場者の健康状態を確認し、確認欄に押印またはサインをすること。宿泊を伴う場合は、当日の検温ができるように各自の体温計を持参しておくこと。
- (6) 厚生労働省から提供を受けている、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）を活用できるように準備する。COCOAを入れている場合は、電源をONにした上でBluetoothを有効にすること。
- (7) マスクを着用していない者は入館を認めない。館内では、泳ぐとき以外はマスクを着用すること。招集所内でもマスクを着用し、会話を控えること。入場準備の際はマスクをはずしてもよい。招集所でははずしたマスクは、服のポケットか袋に入れること。
- (8) コーチは、練習時の大きな声での指示、ホイッスルの使用を控えること。レース・練習後のマスクをしていない選手との会話では、マスクに加えフェイスシールド、またはアイガード・ゴーグルを着用し、眼からの飛沫感染も防ぐこと。
- (9) 入館から退館時までの全ての場面で、人との距離（2m以上）をとって行動すること。
- (10) レース終了後、ミックスゾーンの通過時、サブプールまでの移動中はマスクを着用すること。すぐにマスクを着用できない場合は、ミックスゾーンの手前で呼吸を整えてから着用すること。
- (11) 唾や痰をプールサイドに吐かないこと。（レース直前のスタート台付近や、サブプールでの練習時）
- (12) 食事は、選手控え場所・観覧席のみで、人との距離を2m以上保ち単独で取ること。
- (13) 会場までの交通機関内で、マスクの着用、人との距離、座席間の距離、車内換気、会話などに留意すること。
- (14) 以下のものについては、持ち込み禁止とする。
 - ・ チーム共有のガウン、ドリンクサーバー、アイシングバス
 - ・ メガホンおよびエアホーン等の鳴り物、横断幕（各校1枚の部旗は除く）、のぼり
 - ・ チーム共有のストレッチマット、チューブ、バランスボール、トレーニングバイク等の運動用具（個人専用は持ち込み可）
 - ・ メインプールへのパドル・コード類（サブプールは可）

1 競技について

- (1) 本競技会は、2022 年度(公財)日本水泳連盟競泳競技規則にのっとり実施する。
- (2) 競技は、予選は 10 レーン、B 決勝・決勝は 8 レーンで、タイムスケジュールどおりに行う。
- (3) 女子 800m 自由形・男子 1500m 自由形は予選と決勝を行う。それ以外の種目は予選と B 決勝・決勝を行う。
- (4) 決勝は、予選の結果、上位 8 名(チーム)が出場できる。ただし、棄権者が出たときは、次点上位より順次出場権を与える。
- (5) B 決勝は、予選の結果、決勝進出者 8 名(チーム)を除く、上位 8 名(チーム)が出場できる。なお、棄権者または決勝へ繰り上げ出場者が出たときは、次点上位より順次出場権を与える。
- (6) B 決勝・決勝の進出について、同記録で予定人員を超えた場合は、スイムオフを行う。
- (7) 補欠が同記録で複数いる場合は、抽選を行う。補欠は、決勝種目は 2 名、B 決勝種目は 3 名とする。ただし、リレー種目については 2 チームとする。
- (8) 招集は競技開始 10 分前から行う。本人確認のため、招集所には AD カードを持参すること。招集の際に水着の確認を行う。ガウンは、同日内に他人と共有しない場合に限り着用できる。
- (9) 予選を棄権する場合は、所定の用紙に記入し、当日の開会式もしくは予選競技開始 20 分前(1 日目は 14:40、2 日目以降は 8:40)までにリゾリューションデスクに届け出ること。来場できない場合は、棄権届(メール提出用)を作成し、指定時間までにメールで提出すること。

【提出先メールアドレス】：intercollege-entry@swim-g.net

時間内に届け出をしなかった場合は、棄権料 3,000 円を徴収する。また、無断で棄権した場合は、さらに罰金 3,000 円を徴収する。原則として、決勝を棄権することはできない。やむなく棄権する場合は、その予選競技終了後 1 時間以内に棄権料 3,000 円を添えてリゾリューションデスクに届け出ること。棄権届け出後、上訴審判の裁定により棄権が受理された場合は、繰り上げ選手の決定を行う。

- (10) 競技成立後は、折返監察員の指示によりプール横から退水すること(リレーの第 1 泳者～第 3 泳者も同様)。ただし、決勝 1 位の選手は、自分のレーンから退水し、ただちにフラッシュインタビューを受けること。
- (11) 女子 800m 自由形・男子 1500m 自由形の周回通知は、水中ラップカウンターを使用し、コールは行わない。
- (12) 公式計時 S E I K O による計時バックアップは、水中バックアップシステムを使用する。
- (13) 選手紹介は、予選は組のみの紹介、B 決勝は各レーンで紹介、決勝は入場ゲート前で紹介を行う。決勝に出場する選手は、氏名、学校名の通告を受けてから入場すること。
- (14) リレーオーダーは下記の時間までにリゾリューションデスクに提出すること。

	予選競技	決勝競技
8 月 29 日(月)	8:40	14:25
8 月 30 日(火)	8:40	14:45
8 月 31 日(水)	8:40	14:55

- (15) 本競技会は、上訴審判団を設置する。
- (16) 本競技会は、日本アンチドーピング規定が適用されるので、常に AD カードを携帯すること。

2 表彰について

- (1) 各種目の優勝者(チーム)は、各競技終了後にフラッシュインタビューを行う。
- (2) 1 位から 3 位にメダルを授与し、表彰する。1 位から 8 位に賞状を授与する。
- (3) 選手は、着衣後に手指消毒を行うこと。撮影時は、会話・握手は控えること。
- (4) 選手権獲得校には優勝杯ならびに賞状を、2 位～8 位に賞状を授与する。
- (5) 賞状の引き渡しは、1 階エントランス(レストラン入口付近)で行う。
- (6) AD カードによる記録証の発行は、リゾリューションデスクで行う。
記録証の発行時間 予選競技開始から予選終了後 1 時間、決勝競技開始から決勝終了後 30 分
- (7) 表彰の際の小旗・部旗の持ち込みを禁止する。

3 全体スケジュール

月 日	日程	開門時間	予選競技		決勝・タイム決勝競技		閉門時間
			開始時間	終了予定	開始時間	終了予定	
8月28日(日)	1日目	11:00	15:15	15:50	17:30	18:00	19:00
8月29日(月)	2日目	7:00	9:00	13:25	15:30	18:25	19:25
8月30日(火)	3日目	7:00	9:00	13:45	15:30	17:50	18:50
8月31日(水)	4日目	7:00	9:00	13:55	14:30	18:25	19:25

8月28日(日) 開会式(予選競技開始前15:00～)

8月31日(水) 閉会式(決勝競技終了後直ちに行う)

4 プールの使用について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、練習時に、各レーン内で待機する場合、スタート練習で並ぶ場合も距離を保つこと。練習時の大きな声での指示は控えること。メインプール、サブプールとも練習中は電子ホイッスルのみ使用可とする。

(1) メインプール

- ① 水深は2m、水温は27.5℃に設定する。
- ② 練習は、1日目は開会式開始15分前、2日目以降は予選競技開始15分前までとする。また、2日目以降の朝の練習は、当日の予選競技に出場する選手のみとする。
- ③ 昼休み(予選競技終了後)の練習は、決勝競技開始15分前までとし、2日目以降は当日のB決勝・決勝競技出場者のみとする。
- ④ 練習時のメインプールのレーン指定は次の通りとする。

・1日目

- 0レーン : ダッシュレーン(スタート側からの一方通行とする)
- 1～5レーン: フリーレーン
- 6～7レーン: 50m自由形予選出場者
- 8レーン : ペースレーン(クロールスイムでのみ使用可)
- 9レーン : ダッシュレーン(折り返し側からの一方通行とする)

・2日目以降

- 0・1レーン: ダッシュレーン(スタート側からの一方通行とする)
- 2～8レーン: フリーレーン
- 9レーン : ペースレーン(クロールスイムでのみ使用可)

※スタート側のダッシュレーンは、利用人数によりレーン数を拡大する。

- ⑤ メインプールへのパドル・コード類の持ち込みは禁止する。
- ⑥ 公式スタート練習は行わない。

(2) サブプール

- ① 水温は27.5℃に設定する。
- ② 1レーンは、ダッシュレーンとする(折り返し側からの一方通行)。
- ③ 6レーンは、ペースレーンとする(クロールスイムのみでの使用可)。
- ④ 競技中、電子ホイッスルも含めてホイッスルの使用を禁止する。
- ⑤ パドルの使用については、安全面に十分留意すること。コード類の使用については、他の選手・コーチの妨げとならないよう十分留意し、7レーンでのみ許可する。

(3) ダイビングプール

- ① 水温は27.5℃に設定する。
- ② 競技中はダウン専用とする。サブプールの混雑緩和のため、クーリングダウンはダイビングプールを優先して使用すること。
- ③ 飛込みは禁止する。5mフラッグがないため、泳ぐ際は注意すること。
- ④ クーリングダウンでの使用を目的とするので、全てのホイッスルの使用は禁止する。

5 入館・退館について

- (1) 本大会専用のADカードを持っている者以外は入館できない。
- (2) 来場前にウイルス検査での陰性確認を行うこと。詳細は、2022年8月15日付「新型コロナウイルス感染拡大時における水泳競技会出場について（再通知）」を確認すること。
- (3) 種類ごとの入館制限、入館可能時間、退館時間は下記のとおりとする。

AD種類	入館制限	入館時間	退館時間
選手	入場日制限無し 選手エリアのみ	1日目 11:00～ 2～4日目 7:00～	競技終了 1時間後
管理者	入場日制限無し 選手エリアのみ	1日目 11:00～ 2～4日目 7:00～	競技終了 1時間後
付添	入場は指定日のみ 選手エリアのみ	1日目 11:00～ 2～4日目 7:00～	競技終了 1時間後
トレーナー	入場日制限無し 選手エリアのみ	1日目 11:00～ 2～4日目 7:00～	競技終了 1時間後
関係者	入場日制限無し 関係者エリアのみ	1日目 14:00～ 2～4日目 8:00～	競技終了 30分後

- (4) 2～4日目の朝の開門時の入場は、①選手・管理者・付添・トレーナーADカードに該当日の記載がある者、②選手ADカードに該当日の記載がない者、③関係者（8:00～）の順とする。
- (5) 選手・管理者・付添・トレーナーの入退館は、1階レストラン口とし、2階白門は退場専用とする。ただし、2日目以降の朝開門時（7:00～7:45）に限り、シード校は1階レストラン口、その他の学校は2階白門を使用すること。
- (6) 関係者ADでの入退館は、2階白門を使用すること。関係者ADでは選手エリアに立ち入りできない。選手・管理者・付添・トレーナーADでは関係者エリアに立ち入りできない。
- (7) 入館前に手指消毒をして、検温を受けること。入館時の検温で37.5℃以上あった場合は、別の場所で再度検温する。その結果、37.5℃以上あった場合は入館できない。再入館する際も、手指消毒・検温を受けること。
- (8) 「健康チェック表」の提出について
 - ① 本連盟ホームページからダウンロードした「健康チェック表」に、事前に必要事項を記入すること。「健康チェック表」は、入場日毎に、都度提出すること（最大で4枚準備すること）。
 - ② 「健康チェック表」の体温・体調については、入場2日前、1日前、当日の3日分を記載すること。
 - ③ 外出後に再入館する際は、入口においてADカードの確認および検温を行うが、「健康チェック表」の提出は必要ない。ただし、関係者ADについては、入館の都度、「健康チェック表」の提出が必要となるので注意すること（一時退館を含む）。退館予定がある場合はあらかじめ必要枚数を準備しておくこと。
 - ④ 回収した「健康チェック表」は返却しないので、記載内容を写真等で保管すること。

6 水泳場の使用について

- (1) 選手席・選手控え場所は、全日程を通じて使用できる。
- (2) 場所取り入場は、行わない。スタンド席・控え場所の割振りは各支部の大学間で調整すること。
 - ① 選手控え場所は、事前に指定した範囲に限る（別紙会場図参照）。
 - ② シード校は、予め指定されたスタンド席およびウッドデッキを使用できる。その他の学校は、スタンド席および2階屋外通路のスペースを使用できる。
 - ③ 指定された場所以外（ダイビングプール周辺、サブプールのプールサイド等）は場所取り禁止とする。
 - ④ 荷物を置いて帰る場合は、使用しているスタンド席に学校ごとにまとめて置いておくこと。ただし、盗難について主催者は責任を負わない。
 - ⑤ 利用する場所は、各大学の責任において消毒すること。なお、更衣室、招集所、出入り口のドアなど共用部は大会主催者が抗菌化作業を行う。

- (3) サブプールのプールサイドは、練習時の荷物置き場とする。マッサージ行為は禁止する。
個人でのドライランド・ストレッチでの使用は可とする。
- (4) 館内にいるときは、ADカードを常時首から下げておくこと。また、入退館に際しては、ADカードを提示し、係員の指示に従うこと。紛失した場合は、有償(3,000円)にて再発行を受けること。ただし、**関係者ADカードは再発行しない**。ADカードの管理は厳重に行うこと。
- (5) 「競技会場における商業ロゴマーク等についての取り扱い規定」を厳守すること。
- (6) 入館から退館時までの全ての場面で、人との距離(2m以上)をとって行動すること。選手控え場所・スタンド席で、人との距離・座席間の距離を保つこと。
- (7) 水泳用具・飲食物・ストレッチマット等は、自分専用の物を用意し、共用しないこと。
- (8) マッサージベッドは、許可されている台数に限り指定された場所に持ち込みできる。
- (9) ウッドデッキでのメディシンボールの使用は禁止する。
- (10) 泳ぐとき以外は、原則として常にマスクを着用すること(更衣室・招集所・選手控え場所・スタンド席・プールサイド・トイレなど)。レース前に外したマスクは、服のポケットか袋に入れること(マスクは、選手イス・脱衣ボックスに直接置かない)。招集所内では、他の選手との十分な間隔をとって、マスクを外すことができる。
- (11) 招集所には、招集を受ける選手以外は立ち入ることはできない。選手は、招集所での選手間の会話、レース後の選手間の会話を控えること。
- (12) 更衣室は更衣のみの使用とし、ロッカーは使用できない。更衣室内を控え場所としたり、飲食をしたりすることはできない。置き荷物は忘れ物として扱う。また競技会終了後、残った忘れ物は処分する。
- (13) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- (14) **大きな声での会話や声を出しての応援をしないこと**。ワンパ、円陣、ハイタッチは禁止する。
拍手、手拍子、スティックバルーンの使用は認める。メガホンおよびエアホーン等の鳴り物を持ち込んではいない。
- (15) 飲食については、スタンド席・選手控え場所以外で行わないこと。食事は個別に摂取すること。やむを得ない場合には十分な距離をとり、対面しないようにし、食事時の会話は控えること。ドリンクの回し飲みはせず、飲み切れなかったドリンクを、指定場所以外に捨てないこと。
- (16) 部旗は、1校1枚に限り掲出できる(横断幕、のぼりを持ち込んではいない)。掲出場所は、シード校はウッドデッキ後方、その他の学校はスタンド席最前列の手摺とし、部旗の大きさによっては掲出できる場所を限定する場合がある。掲出する際、跡が残らないようにガムテープは使用しないこと。
- (17) 会場内外でのミーティング等は控えること。

7 注意事項、その他

- (1) 東京辰巳国際水泳場に隣接する駐車場約100台、第2駐車場約180台が使用可能(有料、乗用車に限る)。台数に限りがあるため、停められない場合の駐車場の確保は各大学で行うこと。
バス、マイクロバスを利用する学校は送迎のみとする。会場に隣接する全ての道路は駐車禁止のため、送迎車両の待機はできない。公共交通機関・タクシーの利用を周知徹底すること。
- (2) マネージャーミーティングを1日目は13:45(受付13:30)、2~4日目は8:00(受付7:45)より1階更衣室前ロビーにて行う。参加は1校1名とする。
- (3) 全ての競技者は、競技終了後、予選・B決勝・決勝を問わず、ミックスゾーンを通り退場すること。
ミックスゾーンには、競技を終えた競技者以外の立ち入りを禁ずる。
※個人種目に続いて、同日のリレー種目に出場する選手は、取材をリレー競技後に変更することを申告できる。
- (4) 盗難防止のための貴重品の保管については、各自の責任において管理すること。
- (5) サブプールに、リザルトモニターを設置する。
- (6) 公式掲示板を、更衣室入口付近に設ける。
- (7) 会場各所にて、ドリンクサービスを受けることができる。
- (8) 会場内・アリーナ内では必ず、所属校のユニフォームを着用すること。高校名・スウィミング名等の入った物の使用は固く禁ずる。
- (9) 「競技会場における商業ロゴマーク等についての取り扱い規定」を厳守すること。
- (10) プログラムは、選手受付にて1部2,000円で販売する。また、決勝スタートリストは1日分200円で販売する。

(11) TV放映・映像配信について（予定）

- ① 全日の予選競技および1日目の決勝を、YouTubeにてLIVE配信する。
- ② 2～4日目の決勝は、CSテレ朝チャンネル2・ABEMA TVにて、生放送する。
 - 8月29日（月） 15：00～18：45（生放送）※1日目の録画含む
 - 8月30日（火） 15：30～18：15（生放送）
 - 8月31日（水） 14：30～19：00（生放送）
- ③ 9月4日（日） GET-SPORTS（25：30～26：30）の中でダイジェスト放送 ※一部地域を除く。

(12) 競技結果を、下記の公式サイトで確認することができる。

- ① SEIKO競泳リザルト速報ホームページ (<http://swim.seiko.co.jp/>)
- ② (公財)日本水泳連盟公認サイト「Results of Japan Swimming」(<https://result.swim.or.jp/>)
- ③ (公財)日本水泳連盟公認モバイルサイト「スイムレコードモバイル」(<https://sp.j-swim.jp/>)
- ④ 学校対抗得点 速報サービス (<https://www.swim-g.net/intercollege/points/index.html>)

(13) 入場時に2日間続いて「37.5℃以上」に達するなど、「入館できない条件」に該当した場合は、医師の判断を仰ぎ関係各所に連絡をする。

(14) 会場への移動時や館内においても、熱中症には十分に留意し、こまめな水分補給を心がけること。

(15) コロナ禍での大会開催を鑑み、居住地からの移動時、宿泊地と会場の移動時、夜間の外出や食事等、感染症対策に則った行動をとること。

以上